

「名古屋市救急隊ひっ迫アラート」の発信を開始します！

【ポイント】

- ・救急隊の稼働率が80%を超える場合に「名古屋市救急隊ひっ迫アラート」を発令
- ・熱中症予防など救急事故の発生防止を呼びかけ
- ・真に救急車が必要な場合はためらわず119番通報することを改めて周知
- ・救急車の到着が遅くなる場合があることへの理解をお願い

【概要】

名古屋市では、令和5年中の救急出動件数が155,776件と過去最高値を記録しましたが、令和6年もさらなる増加傾向が続いており、1月から6月末までの間で前年比3,461件4.8%増となっています。このような状況下、令和6年7月8日（月）の救急出動件数は631件（速報値）にも及び、1日の救急出動件数として過去最多であった平成30年7月23日（月）の664件に次ぐ数値となりました。今夏は更なる猛暑も予測されていることから、救急需要の一層の増加が懸念されます。

本市では1分1秒でも速く救急隊が現場に到着できるように救急搬送体制の充実強化に取り組んでいますが、救急需要が増加して救急隊の稼働率が著しく高まると、救急現場の近くに配置している救急車が不在となり、救急車が現場に到着する時間が延伸する場合があります。特に救急隊の稼働率が80%を超えるような場合（令和5年中24回、令和6年中9回※7月10日正午まで）は、出動可能な救急隊が10隊未満となって現場到着時間が著しく延長する可能性が高くなります。

このような救急搬送体制のひっ迫した状況が発生していることを市民の皆様にお知らせし、熱中症予防など救急事故の防止に努めていただくとともに、いかなる場合であっても真に必要な場合にはためらわず救急車を要請いただくことを改めて伝えつつ、救急車の到着に時間を要する場合があることをご理解いただくため、「名古屋市救急隊ひっ迫アラート」の発信を開始します。

【開始日】

令和6年7月16日（火）

【発信方法】

救急隊稼働率が**80%以上**になった場合、SNS（名古屋市消防局の公式X（旧：Twitter）及び公式Instagram）を活用し、「名古屋市救急隊ひっ迫アラート」の発令をお知らせします。

《発信イメージ》



※「名古屋市救急隊ひっ迫アラート」発令時には、非常用救急車を使用して臨時の救急隊を編成して対応します。